

観点別評価規準例

関:美術への関心・意欲・態度 発:発想や構想の能力 技:創造的な技能 鑑:鑑賞の能力

分野	領域・ページ・題材名	ねらい	観点別評価規準例	学習指導要領との関連	
				A表現	B鑑賞
オリエンテーション	P.2~3 表現とは何か				ア
絵画	▲鑑賞 P.4~5 絵画の役割と写真の発明	絵画の役割の変化と表現としての意義を、写真との関連から考える。	関:絵画や写真について関心をもっている。 鑑:作品の表現の違いなどを味わっている。		アウ
	●表現 P.6~7 水のある情景を描く	水のイメージを生かして、情景を豊かに表現する。	関:テーマに興味をもち自分なりに考えている。 発:水のイメージから主題を生成し表現の構想を練っている。 技:主題に合った表現技法を工夫している。 鑑:自分や他者の作品のよさを味わっている。	アイウ	ア
	●表現 P.8~9 大気を感じて描く	大気の描き方を工夫し、風景を豊かに表現する。	関:様々な表現の作品に興味をもっている。 発:大気イメージから自分なりに構想して主題を生成している。 技:自分の思いに合うように表現を工夫している。 鑑:自他の作品のよさや表現の違いを味わっている。	アイウ	ア
	●表現 P.10~11 質感を捉えて描く	ものや場面から感じ取ったイメージを、質感を工夫して創造的に表す。	関:身近なものに興味をもち観察している。 発:感性や想像力を働かせて構想を練っている。 技:主題に合った表現方法を工夫している。 鑑:自分なりの表現ができたか検討している。	アイウ	ア
	●表現 P.12~13 人物のイメージや心情を表す	動きやしぐさ、表情、構図などを工夫して、人物のイメージや心情などを効果的に表現する。	関:回りの人物や友達に興味・関心をもって見ている。 発:人物の特徴などから主題を生成している。 技:人物のイメージに合うように表現を工夫している。 鑑:実際の人物と作品を比較検討して考察している。	アイウ	ア
	●表現 P.14~15 構想を練って描く	人物の大きさや形、構図や配色などを試行錯誤して構想を練り、描きたいテーマを創造的に表す。	関:構想を形にした作品に興味をもち他との違いを考えている。 発:自分なりに構想して主題を生成している。 技:表現方法を工夫して表そうとしている。 鑑:作例と比べ自分の表現効果を検討している。	アイウ	ア
	●表現 P.16~17 感覚の冒険	感じ取ったことや想像したことなど、心で捉えたイメージを形と色で表す。	関:具象画と抽象画の違いに興味・関心をもっている。 発:抽象とは何かを考え主題を生成しようとしている。 技:主題に合った表現方法を工夫して表そうとしている。 鑑:自他の作品のよさや表現の違いを考察している。	アイウ	ア

	●表現 P.18～21 線と明暗で 表す	表したいイメージを、 線や明暗の描き方を工夫して表現する。	関:線と明暗による表現に関心をもち自ら取り組もうとしている。 発:対象の陰影や立体感に注目し主題を生成している。 技:描画材による表現の違いに着目し表現している。 鑑:思いどおりに描けたか振り返って検討している。	アイウ	アイ
絵画・ デザイン	▲鑑賞 P.22～28 琳派	琳派のよさや特色、 美術文化の継承と 創造への理解を深める。	関:琳派独特の表現方法に興味・関心をもっている。 鑑:琳派の美術文化に及ぼした影響などを考察している。		アイウ
資料	P.29 美術について 考える				
絵画	●表現 P.30～31 版で表す	銅版画、シルクスクリーン、 複合技法などのよさや特性を理解し、 その効果を生かして表現する。	関:版表現の独自性に興味・関心をもっている。 発:版の種類を知り主題を生成しようとしている。 技:主題に合った版種を選び表現を工夫している。 鑑:版種による表現が生かされたか考察している。	アイウ	ア
絵画・ 彫刻	●表現 P.32～33 生物を 空想して表す	願いや夢などから発想を広げ、 想像した生物を表現する。	関:同じテーマでも様々な表現があることに興味をもっている。 発:想像力を働かせて主題を生成し表現の構想を練っている。 技:主題に合った表現方法を工夫し表現しようとしている。 鑑:自分の作品の工夫点などについて説明している。	アイウ	アイウ
彫刻	▲鑑賞 P.34～35 作家探究 高村光太郎	日本の近代彫刻の 発展について考える	関:作家の人となりに興味をもち積極的に知ろうとしている。 鑑:作者が作品に込めた思いと歴史的背景などを汲みとろうと		アイウ
	●表現 P.36～37 身近な材料で 表す	身近にあるものを何かに見立てたり、 組み合わせたりすることで、 新しい価値や意味をもつ作品をつくりだす。	関:身近なものに注目し様々なイメージを喚起している。 発:身近なもののイメージを基に主題を生成している。 技:表現方法を工夫してイメージを具体化しようとしている。 鑑:出来上がった作品について客観的に説明しようとしている。	アイウ	ア
	▲鑑賞 P.38～39 石がもつ 素材の可能性	石による表現の工夫と効果について考え、 素材の可能性について理解する。	関:石に対する興味・関心をもち自らも制作したいと思う。 鑑:石彫作品のよさや美しさなどを味わい考察している。		アイウ
	●表現 P.40～41 ポスターを 考える	目的や条件を基に、 テーマが豊かに伝わる ポスターを描く。	関:身近にあるポスターに興味・関心をもっている。 発:自分なりに主題を決めて表現しようとしている。 技:主題に合った表現方法を工夫して表そうとしている。 鑑:自他の作品のよさや工夫しているところを考えている。	アイウ	アイ
	●表現 P.42～43 デザインが もたらす統一感	施設やイベントなどのイメージを 統一感のあるデザインで表す。	関:身近なデザインに着目しそのよさを考えている。 発:自分なりに主題を生成し表現しようとしている。 技:素材や技法を工夫して表現しようとしている。 鑑:統一感のあるデザインができたかを検討している。	アイウ	アイウ

デザイン	●表現 P.44～45 紙の特性を生かして伝える	伝えたい気持ちや情報、物語などを紙の特性を生かして効果的に表す。	関:いろいろな紙の特性に興味をもち制作しようとしている。 発:紙をどのように使うかを考えて主題を生成している。 技:紙の特性を生かして表現方法を工夫している。 鑑:紙の特性を作品に生かしたかなどを考察している。	アイウ	アイ
	▲鑑賞 P.46～47 使う人のためのデザイン	使う人、用途、場面、気持ちなどを考えて形づくられたデザインに、どんな工夫が施されているかを理解する。	関:身近にあるもののデザインのよさに興味をもっている。 鑑:身近にあるものの形体や機能のよさをなどを考察している。		アイ
	▲鑑賞 P.48～49 庭園の造形	文化と庭園のかかわりに目を向け、その働きについて理解を深める。	関:庭園に興味をもち景観を味わっている。 鑑:庭園と環境や文化などとの関わりを考えている。		アイウ
	▲鑑賞 P.50～51 感覚に訴えるデザイン	複雑な機能を感覚的に扱うためのデザインの工夫を理解する。	関:身近にある機器の使いやすさなどに興味・関心をもっている。 鑑:視覚や触覚に訴えるデザインとは何かを検討している。		アイ
映像 メディア 表現	▲鑑賞 P.52～53 作家探究 土門 拳	土門の作品や言葉から作家と被写体との関係、1枚の写真による表現力などを理解する。	関:土門拳という写真家やその表現に興味・関心をもっている。 鑑:土門拳の作品を味わいそのよさなどについて考えている。		アイ
	●表現 P.54～55 複数の写真で表す	複数の写真を組み合わせることから生まれる効果を生かし、表したいテーマを創造的に表現する。	関:写真を組み合わせる面白さに興味をもっている。 発:自分なりに主題を生成して構成を練っている。 技:カメラの機能を駆使して主題に合った表現を工夫している。 鑑:複数の写真の組み合わせから感じられるものを考えている。	アイウ	アイ
	▲鑑賞 P.56～57 アニメーションで伝える	伝えたい内容を効果的に表すためのアニメーションの特性を生かした演出を理解する。	関:テーマや表現に興味・関心をもって作品を味わっている。 鑑:作品のよさや面白さなどを自分なりに考えて分析している。		アイ
	▲鑑賞 P.58～59 プロジェクション・	プロジェクション・マッピングの特性を理解し、作者の意図と映像の演出について、効果や可能性を理解する。	関:プロジェクション・マッピングとは何かを知り興味をもっている。 鑑:光と影などの演出効果のよさや美しさを味わっている。		アイ